

平成 23 年 10 月 12 日

横浜市議会議員

大桑 正貴 殿

横浜市栄区庄戸 3-25-7 (連絡先) 比留間哲生

横浜市栄区桂台西 2-16-25 長谷川誠二

横浜市栄区公田町 774-5-28-4 柴田 哲夫

横浜市栄区庄戸 3-13-23 永田 親義

横浜市議会での南線に関する貴職の質問について (要請)

早速乍ら平成 22 年 12 月の市議会本会議における貴職の林市長に対する横浜環状南線 (以下南線) に関する質問内容は私達にとって看過し難く、ここに要請致したいことがあり、ご多忙中恐縮乍ら要請に応えてなるべく早く回答下さるようお願い致します。

貴職は上記市議会で栄区が平成 22 年夏に栄区民 3000 人 (無作為抽出) を対象に実施した区民意識調査の南線に関する調査結果を取り上げて林市長に対し、思った以上に早期完成や圏央道などとのつながりを望むという声が多かったように感じましたが、これについて市長の所感を伺いたいと質問しました。これに対して市長は各項目毎の回答の%を読み上げて区民の皆様の南線整備への期待が大きいことを私は改めて感じましたとし、この期待に応えて圏央道の県内他区間におくれることなく南線の整備を計画的に進めてまいりますと答えています。

上記南線に関する区民意識調査結果についての貴職の質問と市長の回答は、栄区の集計法の誤りによる間違ったデータを基に行われたものであることを私達は本年 2 月 23 日付横浜市長に対する行政不服審査請求、6 月 6 日付横浜市監査委員に対する住民監査請求、さらに 8 月 2 日付横浜地裁への住民訴訟提訴の訴状などに詳細に記載しました。栄区の集計法の、誤りの内容についてはこれらに譲り、ここで要点のみ述べれば、南線については 2 項目まで〇印をつける複数回答のため、正しくは各項目毎の回答数を全回答数で割って%を出すべきところを回答者数で割って%を出したため、各項目の%の合計は 100%とならず 154.7%というとんでもない値となり、百分率とは無関係な全く無意味な数値になっています。その結果早期完成 30.3%、圏央道など

とのつながり 28.6%となり、両者の合計は 58.9%と大きな値になっています。貴職がこの数字を見て栄区民の南線への期待が思った以上に大きいと思ったのは当然のことであり、私達はそのことで貴職を責めるつもりはありません。私達が言いたいのは、南線に関する栄区の調査結果は間違いであることを貴職が認識され、そのことを前提に対処されることを期待しているということです。というのは正しい集計法によると早期完成は 19.6%、圏央道などとのつながりは 18.5%であり、その合計は 38.1%となって過半数にも及ばずむしろ小さい数字であり、南線に対する栄区民の期待は決して大きいものではないことが分かるからです。

以上に述べたように貴職が栄区民の南線への期待が予想以上に大きいと考えたのは集計法の誤りによる間違っただデータによるもので、このことについてはすでに貴職は十分理解されているものと私達は考えます。従って市議会での貴職と市長のやりとりをそのまま議事録に掲載し続けるべきではないことについてはご理解頂けると思いますが。というのは、市議会は市民の代表と市当局が市政の在り方について真剣な討議を行う場であり、そこでの議論は市民の大きな関心の対象だからです。実際市民は市議会の場では確かな事実と正しいデータに基づいて討議が行われていることを信じて議事録を読むわけで、それが間違っただデータを基になされたやりとりであれば、それは市民を欺く背信行為以外の何ものでもありません。その意味で当該議事録中の貴職と市長の討論部分は当然訂正なり削除すべきと私達は考えそのことを強く要請します。

この要請に対して可及的速やかに回答下さるようお願い致します。

以上